

# 行歯会だより 第155号

(行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会) 令和2年9・10月号



## 1 公衆衛生施策立案に役立つ疫学研究の紹介

～歯周病が慢性閉塞性肺疾患(COPD)の引き金に～

名古屋大学大学院医学系研究科予防医学分野 准教授

竹内 研時

## 2 都道府県世話役のつぶやき ～神奈川県・三重県～

● 神奈川県 神奈川県小田原保健福祉事務所 専門歯科衛生士

加藤千鶴子

● 三重県 三重県熊野保健所保健衛生室健康増進課 主幹

石濱 信之

## 3 令和2年度第1回行歯会理事会議事録

### 1 公衆衛生施策立案に役立つ疫学研究の紹介 ～歯周病が慢性閉塞性肺疾患(COPD)の引き金に～

名古屋大学 大学院医学系研究科 予防医学分野

准教授 竹内 研時

行歯会会員の皆さま、いつもお世話になっております。賛助会員の

名古屋大学大学院医学系研究科予防医学分野の竹内研時と申します。

このたび、「公衆衛生施策立案に役立つ疫学研究」という観点から、

研究紹介をさせていただく機会をいただきました。

はじめに、疫学研究の主たる目的は「疾患の原因を調査すること」であるのは広く知られていますが、疾患の予防やコントロールなど、「人々の健康の向上に寄与する政策を開発するための基礎情報を提供すること」も疫学研究の重要な目的であることは意外と知られていないかと思



ます。そこで、世の中の数多の疫学研究を見渡した際、曝露と疾患発生の因果関係の探求だけでなく、曝露を取り除いた際の疾患の予防効果についても推定している研究が見つければ、それは「公衆衛生施策立案に役立つ疫学研究」と言えるのではないのでしょうか。

また、実際に公衆衛生施策を立案する側の視点を加えた場合、そうした研究の中でも、「施策実施対象の母集団に近い集団を研究対象としている」研究や「介入可能な曝露を研究対象としている」研究は特に有用と考えられます（表1）。そこで、手前みそながら私が関わった「歯周病と慢性閉塞性肺疾患（COPD）発症の関連」についての研究（Takeuchi K et al. Periodontitis is associated with chronic obstructive pulmonary disease. Journal of Dental Research 2019）を、具体例として紹介させていただきます。

COPDは、これまで慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称で、WHOの報告では2016年に世界の死因の第3位となり、現在重要な社会問題となっています。COPD発症の要因は喫煙を主とする有害物質の長期吸入であることは知られていましたが、非喫煙者の発症要因はこれまで謎でした。そこで、調査対象母集団を一般的な日本人成人・高齢者と定め、介入可能な曝露因子として歯周病に着目し、福岡県久山町の60歳以上成人900名の追跡調査データを分析し、COPD発症との関連を検討しました（久山町住民は全国平均とほぼ同じ年齢・職業分布を持っており、偏りのほとんどない平均的な日本人集団と認識されています）。

その結果、喫煙などの影響を加味した上でも、歯肉が健康な人や軽度歯周炎の人に比べ、重度歯周炎の人はCOPDを5年以内に発症する割合が3.5倍も高いことがわかりました（図1）。この推計は、曝露と疾患発生の因果関係の探求のためのリスク比の算出に該当します。一方、曝露を取り除いた際の疾患の予防効果を推定するには、寄与リスクの算出が有用です（寄与リスクとは、ある疾患の発生率の中で、ある曝露に起因すると考えられる部分の差や割合を示す指標です）。本研究では、寄与リスクの概念を曝露群から人口全体に拡張した人口寄与リスク（人口リスク差と人口リスク割合の総称）を算出することで、COPD患者の約4人に1人（22.6%）は中等度以上の歯周炎が原因である可能性を示しました（図2）。これは同時に、効果的な歯周炎予防プログラムが実施された場合、理論上は久山町民全体のCOPD発生率を最大22.6%減少できることを意味しています。こうした推計結果を基に、目的とする疾患の予防に対する各曝露の寄与リスクを比較し、対処すべき曝露の優先順位を客観的に決定することは、公衆衛生施策を立案する際の重要な工程ではないのでしょうか。

最後に、今回紹介させていただいた研究はもちろんのこと、表1にまとめた要件を満たす研究を、行歯会会員の皆さまが実際に関わる自治体の状況に応じて、活用・引用いただくことで公衆衛生施策立案に役立てていただければ幸いです。

図表：

表 1. 公衆衛生施策立案に役立つ疫学研究の要件

- 
1. 曝露と疾患発生の因果関係の探求だけを目的とはせず、  
曝露を取り除いた際の疾患の予防効果も推定している。
  2. 施策実施対象の母集団に近い集団を研究対象としている。
  3. 介入可能な曝露を研究対象としている。
- 

図 1. 歯周病の重症度別でみた COPD 発症リスク

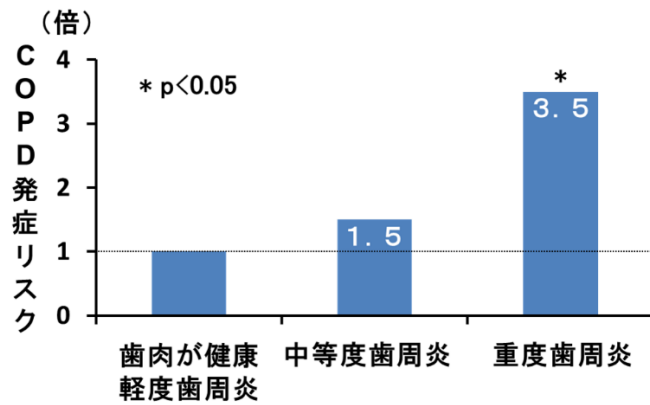


図 2. 歯周病は COPD 患者の約 4 人に 1 人の原因である可能性



## 2 都道府県世話役のつぶやき

神奈川県

神奈川県小田原保健福祉事務所

専門歯科衛生士 加藤千鶴子



2019.夏の黒部ダムにて

### ●世話役のつぶやき

2年半ぶりに世話役のつぶやきの当番が回ってきました。

何を書こうか悩みましたが、COVID-19絡みの最近の出来事を呟いて

みたいと思います。

COVID-19の影響で、2月中旬以降、人を集める研修事業などは、よほどの理由がない限り中止、会議はオンライン利用や書面開催になるなど、ガラリと状況が変化しています。緊急事態宣言発令中は、歯科相談事業もストップし、その代わりに、帰国者・接触者相談センターの電話相談業務に協力しました。

拡大時差出勤やテレワークが推奨されていますが、私は通常の勤務形態で毎日通勤しています。緊急事態宣言発令中は、びっくりするくらい電車が空いていたのですが、今はだいぶ元の状態に戻っているので、感染しないように気を付けて通勤しています。

同僚との会話の中でも、旅行に行きたい、買い物に行きたいなど心の本音が出てしまうことがあります。副所長曰く、「公務員は“後樂園”で」なのだとか。後樂園の名前の由来は、「天下の憂いに先んじて憂い天下の楽しみに後れて楽しむ『先憂後楽』の精神」だそうです。

### ●神奈川県の最近のトピックス

#### 1 行歯会県内会員が増えました！

県本庁は、今年採用の歯科医師と産休代替の歯科衛生士が、右も左もわからない中、奮闘して頑張ってくれています。行歯会にも加入してくれました！

横浜市、川崎市、茅ヶ崎市からも複数の方が加入してくれました。世話役としてはやっぱり嬉しいものです。

#### 2 歯科相談での出来事

歯科事業に、う蝕ハイリスク児の相談事業があるのですが、通常2～3か月間隔で来所してもらっているところ、コロナで半年以上間隔が開いてしまい、う蝕にしないでキープして

いた歯をう蝕にってしまった子がチラホラ・・・。自粛生活で、食生活が乱れちゃったのかしら、あ～残念！！

でも、新しい発見もありました。密にならないように、個別に来所時間を指定して実施したところ、他の人がいなくてゆったり関われるからか、お母さん達が子どもとの関わりの様子などをあれこれ話してくれたり、今まで大泣きだった子が泣かずに検診や予防処置ができたのです。たまにはこんな雰囲気でもやるのもいいねと一緒に仕事をしている歯科医師とほっこりした気分を共有しました。

### ●行政歯科職が一堂に会して情報交換する場の紹介

神奈川県は、横浜市、川崎市、相模原市の3つの政令指定都市、中核市の横須賀市、保健所政令市の藤沢市、茅ヶ崎市があり、それぞれに歯科医師、歯科衛生士がいますので、本庁歯科職は、年1回程度、顔合わせを兼ねた情報交換の会合を開催しています。

県歯科職が一堂に会する場として、「神奈川県保健福祉事務所歯科医師・歯科衛生士研究会」を立ち上げています。年6回程度集まって、歯科保健施策推進のための取組や意見交換等を行っています。

また、歯科職が新規採用されたときは、各保健福祉事務所に出向いて事業見学を行いながらの臨地研修を行っています。

三重県

熊野保健所保健衛生室健康増進課

主幹 石濱 信之



### ●世話役のつぶやき

いきなりですが、“行歯会だより”というのはすごいですね。

皆さんそう思いませんか？

三重県世話役の石濱です。この4月から熊野保健所に異動になりました。実は、熊野信仰、熊野三山、世界遺産熊野古道の大部分は和歌山県内にあるのですが、熊野市はなんと三重県にあるのです。ご存じでしたか？ここには三重県熊野庁舎という比較的新しい大きなきれいな県庁舎がありますが、我が保健所は近くの単独庁舎です。某番組のようにマップで検索、ズームし、上からだけではわかりにくいので、ストリートビューで保健所庁舎を是非一度ご覧になってみてください。その建物2階のごく一部が執務室です。

健康増進課は総勢5名（正規職員）。この5名で感染症、精神、健康づくり、難病、小慢等々を所管しています。私は、本職の歯科保健に加え、難病、肝炎、感染症、精神を担当しています。つい先日も夜（夜中ではありませんよ）に緊急で呼び出しがあり、往復320km爆走、熊野に戻る途中で夜明けを迎えるということがありました。わかる方はわかりますね。

コロナ対策については、行歯会すべての皆様が関わっておられると存じます。お疲れ様です。人口規模や感染者数の規模が大都市部や他都道府県とは格段に違いますが、私も当保健所で同様に関わっています。直接の担当課でありながら課員5名ですので、詳細は書けませんが全員でコロナ対策すべての部分を担っている状況です。

### ●最近のトピックス

三重県では令和元年度、県民自らが主体的に取り組む健康づくりや企業の健康経営の取組を推進するため、企業、関係機関・団体、地方自治体等が一体となり、「三重とわか県民健康会議」を新たに立ち上げました。日本健康会議のHPに記事がありますので、これは見てください。ここの画像に出ている趣旨説明を行っている課長は、歯科医師です。すごいでしょ。

健康づくり課（現在は健康推進課）には、歯科衛生士が1名おり、県全体の歯科保健を担っています。入庁から数年間はいろいろと苦労があったと思います（石濱という者が同課に居たからだという説が大きいです）。現在も本庁で県民の歯科保健向上に取り組んでいます。

…ということは、あとはお前だろ！そうです。あとは私、石濱が地域で具体的な目に見える歯科保健推進を示す必要があるのです。

今回、都道府県世話役のつぶやき原稿依頼を頂戴し、編集担当者様からコロナ対策重点になってもよいとのご了承をいただきましたので、このようなどても行歯会と思えないようなつぶやきになりました。

## 3 令和2年度第1回行歯会理事会議事録

日時：令和2年10月9日（金）19時～21時

Zoomによるオンライン会議

長、森木、山田、高澤、芦田、岸井、佐々木、田村、中山、林、金森、芝田、清田、堀江、柳澤、吉野、渡辺、加藤、福田、安藤、田野（敬称略、順不同）

欠席者（11名）

森谷、石田、白井、小池田、久米田、高橋、原田、黒田、沖野、柳本、比良

※理事29名、事務局3名

行歯会では、前回初のオンライン理事懇談会を経て、今回正式にオンライン理事会を開催する事ができました。『オンライン会議』はこの半年で急速に活用が進み、特段目新しくもない感覚ですが、行歯会運営には大変大きな前進となります。これまで予算ゼロの全国組織である事から、遠方の理事は会議に出向く事は実質不可能で、東京近郊の理事を中心に会を運営せざるを得ませんでした。オンラインの活用により、距離や移動時間といった問題を解決することができました。

また、先日の公衆衛生学会自由集会でも、オンライン開催により、これまでに無い手応えを感じました。今後より多くの方々と繋がり、活動が広がっていく事を実感しました。会員皆様からも、オンライン活用に関する様々なアイデアをお寄せいただきますよう、お待ちしております。

## 【議題】

1 行歯会だより計画について（中山） 賛助会員である九州歯科大学の福泉氏、日本歯科大学の大島氏へ掲載記事の執筆を依頼している。また、公衆衛生学会自由集会、世話役のつぶやきについては京都市橋野氏に依頼した。行歯会だよりの記事掲載計画について確認した。新しい企画として、新規会員の方に「NEW FACE」として原稿依頼をする。毎年度、名簿更新の際に、世話役から新規入会の会員を聞き計画をたてると良い。

愛知県が新人育成プログラムを行っており、市町村人材育成マニュアルを作成している。愛知県の取り組みを連載記事として掲載する。

行歯会 HP 掲載の行歯会だより記事一覧は、記事を検索しやすく、記事掲載計画や執筆依頼の際にも必要な一覧であり、行歯会だよりの主担当の作業として半年毎に追加更新していく。

## 2 世話役アンケートについて（吉野、林）

コロナ対策の中でのオンライン活用についてアンケート調査する。

調査案ができたので、理事会で出た意見を反映し、理事 ML で内容を精査・決定し、その後世話役へ連絡する。

## 3 公衆衛生学会自由集会（安藤、福田、高澤、長）

「こくちーず」を通し、10/16の11時50分まで申し込みできる。すでに定員100名に対して64名申し込みがあった。事前に申し込み者に対しアンケートを実施し、事後につなげるような内容とする。

## 4 「歯っとサイト」について（安藤）

適宜、更新を行っているが、直近では災害の部分について修正を行う。



## 5 災害担当

研修申し込みは東日本は2名推薦済み、中日本1名、西日本2名の行歯会枠が空いている状況。森木副会長より推薦していただく予定。また、今年度はWeb開催となっている。今年度より始まるアドバンス研修は、静岡県の種村氏を推薦した。Web開催のため、講師である柳澤理事の担当分野についてはビデオ撮影済みとなっている。



### ♪ 編集後記 ♪

考え方が変われば言葉が変わる。言葉が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば人生が変わる。(N)

コロナ禍で、一層力が入る歯周病対策。これも後樂園でありたい。まずは先んじて予防に励み、後は、いつまでも美味しく楽しい人生を。(K)

### 「歯っとサイト」掲載コンテンツ募集！

「歯っとサイト（歯科口腔保健の情報提供サイト）」

<http://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/index.html> では、

掲載コンテンツを募集しています。

掲載を希望される場合は、「行歯会だより」の配信メールに記載されている窓口宛にご連絡ください。